

絶え間ない変化に対応する

2019 年のトップ IT トрендと優先事項の分析



組織は変わり続ける
顧客からの要求、競合他社、
テクノロジーに直面しています。
イノベーション、シンプルさ、
そしてスピードの向上は、
成功のために変化を求める組織の
最優先事項となっています。

Red Hat® Enterprise Linux® 8 は、
組織が現在および将来の変化に
対応するためのセキュアで一貫した
基盤を提供します。

はじめに

現代のビジネスでは、日々ほぼあらゆる面において「変化」に直面します。常に魅力的な新しいサービス、機能、エクスペリエンスの提供を求める顧客。同業他社、新規参入企業、隣接業種における競争の激化。さらには、ビジネスが依存するテクノロジーの加速的な進化。

これらの結果として、多くの組織がデジタル機能とテクノロジーを駆使して、新しいビジネスモデル、製品、サービスを生み出しています。実際、現在では組織の 88% が何らかのデジタル・エクスペリエンスを作り上げています。¹

組織がどのように変化を進め、また変化に対応しているかに関する理解を深めるため、Red Hat では顧客企業 1,052 社を対象として、2019 年における各社の計画と優先事項に関する調査を実施しました。本書では、変化の原動力、各社の予算分配における優先項目、および成功に向けての課題についてまとめます。

組織的な変化の原動力

変化はビジネスのあらゆる側面で起こっていますが、変化の要因ごとに影響力の大きさは異なります。2019 年において変化をもたらす最大の原動力は、イノベーション、シンプルさ、スピードです。

イノベーション

営利組織の多くは、既知および新興の競合企業との競争の激化に直面しています。組織は革新的なサービスやテクノロジーを提供することで、競合との差別化を行い、内部ユーザーの生産性、効率性、独創性の向上を図る必要があります。実際、調査対象企業の 31% が、2019 年における変化への適応において取り組むべき最優先事項としてイノベーションを挙げています。¹

シンプルさ

既存の IT 資産に新しいテクノロジーが追加されていくにつれて、IT インフラは長期的に複雑化していく傾向があります。このことは多くの IT チームにおいて、管理、セキュリティ、デリバリーに関する課題を生じさせます。シンプルさは重要であり、調査対象企業の 17% が IT の単純化を自社のトランスフォーメーションにおける最大の原動力であると回答しています。¹

スピード

競争のプレッシャーが激化するにつれて、市場でビジネスチャンスをつかめる期間は短くなります。市場シェアを維持し、新たな顧客を獲得するためには、組織は変わり続ける要求にいち早く対応していく必要があります。そのため、調査対象企業の 16% が最大の懸念事項としてスピードを挙げています。¹



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

¹ Global IT Trends & Priorities Research、2018 年 11 月、Qualtrics および Red Hat。

組織における変化の主要な原動力

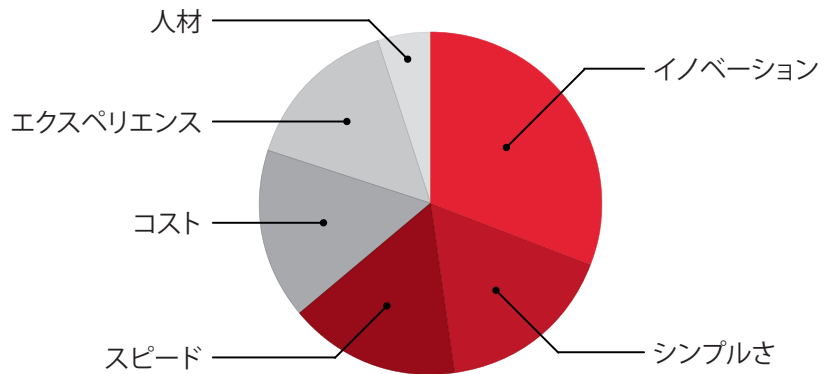


図 1. Qualtrics と Red Hat が 2018 年 11 月に実施した調査で判明した、組織の変化の主な要因

高度な開発ツールとテクノロジー、一貫したコンテナアーキテクチャ、トップクラスのパフォーマンスを備えた Red Hat Enterprise Linux 8 は組織の変化の最優先事項に対応します。

コスト

IT リーダーの 48% が、自社の IT 予算は今後 21 カ月の間に増加すると予測しています。それでも IT 部門には、既存の投資から最大の利益を上げることと、より多くのイノベーションやサービスを提供していくことの間で、資金の使い方に繊細なバランス感覚が求められます。²その結果、調査対象企業の 16% においてコスト削減が最優先事項となっています。¹

エクスペリエンス

ユーザーエクスペリエンスの質は、製品の成功と失敗を分かつ要因になる場合があります。デジタル化された世界において、ユーザーは社内外を問わず高性能でシームレスな、直感的に使えるインタフェースとエクスペリエンスを期待します。製品から満足できる体験を得られなかったユーザーは、ニーズを満たす別の製品を即座に探し始めます。そのような理由から、調査対象企業の 15% がエクスペリエンスを最も重要な取り組みとして挙げています。¹

人材

あらゆる組織の核を成しているものは、人材です。テクノロジーの変化が加速するにつれて、IT スタッフが最大限のビジネス価値を提供するためには、常にスキルをアップデートしていく必要があります。組織がこれを促進していくには、学びの文化を支え、継続的なトレーニングをスタッフに提供する必要があります。このような背景から、調査対象企業の 5% は人材が 2019 年の最重要課題であると回答しています。¹

予算配分の優先項目

ビジネス目標を達成するため、組織は予算を既存の IT インフラストラクチャから新たな IT イノベーションへと移しつつあります。実際、新しい IT イノベーションへの投資が IT 予算に占める割合は今後 2 年間で 43% から 55% に増加すると予測されています。¹組織の 63% は新しいテクノロジー、58% は IT とビジネスプロセスに大きく予算を割いています。¹

この転換のさなか、組織では既存の IT インフラストラクチャを最適化することで、ビジネスオペレーションに対する継続的かつ信頼性の高いサポートを確実に提供していく必要が生じます。IT 最適化で期待される効果には、IT の効率化、コスト低減、IT の俊敏性の向上、サービス提供の加速、セキュリティプロファイルの強化などがあります。¹そのため、2019 年における予算配分の優先項目にはセキュリティ、クラウド・インフラストラクチャ、エンタープライズ統合などが挙げられています。

² Harvey Nash and KPMG、『CIO Survey 2018: The transformational CIO』、2018 年。

予算配分の優先項目

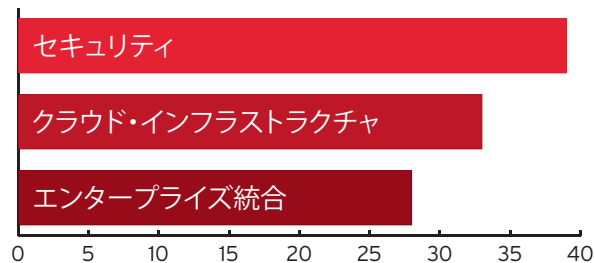


図 2. Qualtrics と Red Hat が 2018 年 11 月に実施した調査で判明した、予算配分の主な優先項目

セキュリティ

Red Hat Enterprise Linux 8 は組織が変化への対応で必要とするセキュリティテクノロジー、クラウド・インフラストラクチャの基盤、一貫した統合を提供します。

組織の種類、規模、業種を問わず、セキュリティは引き続き最重要課題となっています。セキュリティ脅威の数や攻撃ソースは増加しており、もしセキュリティ侵害が発生した場合には、ビジネスに深刻な影響を及ぼす可能性があります。事実、CIO の 33% は自身の組織が過去 2 年間に大規模なサイバー攻撃の標的になったことがあると回答しています。² 今回の調査対象企業においては、クラウドセキュリティ、データプライバシー、セキュリティ違反の検知と監視に対する予算が特に優先度の高い項目となっています。¹

クラウド・インフラストラクチャ

クラウド・テクノロジーは成熟の域に達しました。それを受けて、業界を牽引する企業ではクラウド・インフラストラクチャを導入が進み、その高い柔軟性、コスト効率、イノベーションを活用しています。2019 年におけるクラウド・インフラストラクチャ予算の主な対象としては、クラウドセキュリティ、アプリケーションの移行、クラウド戦略の開発が挙げられます。¹

エンタープライズ統合

組織内の IT 環境は時間の経過に従って分断されたり、複雑化したりすることが少なくありません。接続され、統合された環境では効率と安全性に加え、可視性とビジネス成果も強化することができます。エンタープライズ統合に関する予算の最優先項目は、データ、Software-as-a-Service (SaaS) アプリケーション、ハイブリッドクラウドのリソース、モノのインターネット (IoT) 対応デバイスとなっています。¹

適応における課題

予算の優先順位付けと割り当てが問題なく終わったとしても、多くの組織では変化への適応で何らかの課題に直面します。

IT 人材とスキルギャップ

新しいテクノロジーは、組織がデジタル世界で成功するために役立ちます。しかしそのためには、そのテクノロジーを効果的に実装、運用、管理してビジネス上のメリットにつなげることのできる IT スタッフが欠かせません。最高情報責任者 (CIO) の 65% は自組織においてスキルの不足を感じており、それが IT 戦略に支障を来していると考えています。² 不足している主なスキルには、技術アーキテクチャ、セキュリティと耐障害性、エンタープライズ・アーキテクチャなどがあります。

適応における課題

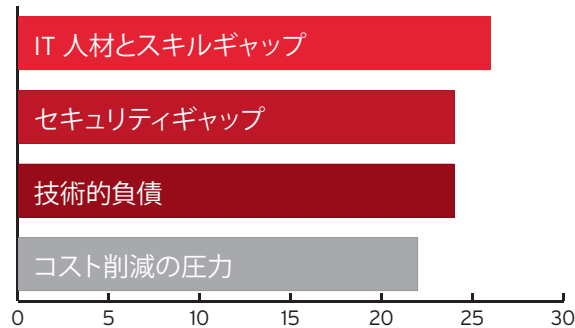


図 3. Qualtrics と Red Hat が 2018 年 11 月に実施した調査で判明した、適応における主な課題

Red Hat Enterprise Linux 8 は組織が変化への対応で必要とするセキュリティテクノロジー、クラウド・インフラストラクチャの基盤、一貫した統合を提供します。

セキュリティ

脅威の数やソースが増加している状況において、データ、アプリケーション、インフラストラクチャのセキュリティ確保は不可欠です。しかし、複雑で統合されていないインフラストラクチャでは、潜在的な脅威をすばやく識別したり、環境全体に一貫性をもってセキュリティポリシーを適用することは難しくなります。

技術的負債

予算やリソースが限られている IT 組織では、大きな変更を包括的に導入するのではなく、すばやく簡単な解決方法を手当たり次第に適用することがあり、結果として時間とともに技術的な負債が蓄積していくことになります。これにより、統合されていないさまざまなシステムが乱立することとなり、大規模な変更を行おうとしたときに多くの労力と修正が必要となります。これを裏付けるように、調査対象企業の 39% で、最新バージョンのソフトウェアへのアップグレードや移行が最大の懸念事項となっています。¹

コスト削減の圧力

IT 組織の半分以上で、予算は現状維持または削減となっています。また、22% は変化への適応における最大の課題としてコスト削減の圧力を挙げています。¹新しいイノベーションや戦略的なイニシアチブのために予算やリソースを解放するには、既存の IT インフラストラクチャや運用の最適化が欠かせません。

Red Hat® Enterprise Linux® 8 のような、俊敏でセキュリティを重視したオープンソースの IT 基盤は、こうした課題の克服に役立ちます。優れた柔軟性を備えたエンタープライズ対応のインフラストラクチャにより、絶え間ない変化への対応に必要な柔軟性が得られます。スタッフは、オープンソースのプラットフォームを使うことで、現在のスキルを活用しつつ最新のテクノロジーや方法を経験できます。また、環境全体にわたる一貫性を確保できるため、可視性が高まり、すべてのワークロードとリソースにポリシーを適用することが可能になります。

Red Hat Enterprise Linux 8 で変化に適応する

Red Hat Enterprise Linux 8 は、セキュリティを重視し一貫性の高い基盤をハイブリッド環境に提供するだけでなく、より少ない労力でより迅速にサービスとワークロードを提供するためのツールを提供します。より高い制御性、信頼性、イノベーションの自由を提供する Red Hat Enterprise Linux 8 は、クラウドの導入にかかる労力とコストを低減させ、クリティカルなビジネスワークロードの市場投入時間を短縮します。

Red Hat Enterprise Linux 8 のサブスクリプションに含まれる機能とサポートは変化の主要な要因や予算配分の優先項目に対応しており、変化やモダナイゼーションに伴う課題の克服に役立ちます。

組織的な変化の原動力への対応

イノベーション

数千に上る認定ハードウェア、ソフトウェア、クラウドプロバイダーが提供される Red Hat Enterprise Linux は、イノベーションを支える一貫した基盤として、安定性に優れた最新の開発ツール、コンテナ・テクノロジー、ハードウェア、および先進的なクラウド技術を提供し、広範な Red Hat ポートフォリオもサポートしています。

シンプルさ

Red Hat Enterprise Linux を導入すると、物理環境、仮想環境、プライベートクラウド、パブリッククラウドをまたいでインフラストラクチャやアプリケーションを自由に設計、構築、デプロイできます。

スピード

高パフォーマンス製品市場を牽引する Red Hat Enterprise Linux は、コンピュータ能力のスケラビリティ、アプリケーションのパフォーマンス、データベースのスループット、膨大なストレージ要件など、幅広い領域において、極めて要求の高いワークロードでも実行することができます。また、組み込みの管理機能や、Red Hat が提供する広範な管理および自動化製品のポートフォリオとの統合機能により、すばやくデプロイおよびプロビジョニングしてビジネスニーズに対応することが可能です。

予算配分の優先事項への対応

セキュリティ

データセンターのセキュリティはオペレーティングシステムから始まります。Red Hat Enterprise Linux はセキュリティ・テクノロジー、制御機能、認定、および Red Hat 製品セキュリティチームによる継続的なサポートにより、お客様のデータとビジネスを保護します。強制アクセス制御と、セキュアなコンテナを使用したアプリケーション分離は、侵入対策と規制へのコンプライアンスの充足に役立ちます。

クラウド・インフラストラクチャ

Red Hat Enterprise Linux は、ハイブリッドクラウドのインフラストラクチャや、機械学習などの新興ワークロード向けの、一貫性を備えた基盤となります。ワークロードやアプリケーションは基盤となるインフラストラクチャが何であれ同じように実行されるため、クラウドの導入やクラウドへの移行が容易になります。

エンタープライズ統合

ベアメタル、仮想、クラウド・インフラストラクチャに対して一貫性、柔軟性、信頼性に優れた基盤を提供する Red Hat Enterprise Linux 8 は、運用の統合を助けるほか、最新のクラウドネイティブなエンタープライズ・アプリケーションに関して、開発体制のアジリティと本番環境の安定性を両立させるために役立ちます。

適応における課題の克服

スキルギャップ

Red Hat Enterprise Linux を使用すると、スタッフは現在有するスキルの多くを引き続き活用することができます。また、Red Hat はトレーニングや実践的な認定を提供しているため、お客様はそれを利用してスタッフが新しいスキルを身に付け、生産性を高められるようサポートできます。

セキュリティ

組み込みのセキュリティ機能により、お使いの Red Hat Enterprise Linux 環境をプロアクティブに保護できます。Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションでは継続的な脆弱性モニタリングが提供され、深刻な問題が発生した場合には迅速なセキュリティアップデートも利用できます。

技術的負債

Red Hat Enterprise Linux は既存のインフラストラクチャで利用できるため、ワークロードやアプリケーションの移行は任意のペースで進められます。既存の Red Hat Enterprise Linux 環境についてはシームレスでダウンタイムを伴わない移行プロセスを利用できるため、より簡単なアップグレードで最新のイノベーションを活用できます。

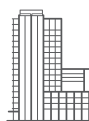
コスト

Red Hat サブスクリプションの価格モデルを利用すると、高額な設備投資から予測可能で継続的な運用コストへと移行できます。柔軟な購入ができるため、ニーズに合わせてスケーリングや移行を行えます。

まとめ

IT 組織は役割、テクノロジー、ビジネス要求の変化に直面しています。ほとんどの組織はその変化に対し、より高度なイノベーション、柔軟性、速度を提供しつつ既存の IT 投資を最適化する新しいテクノロジーを実装することで対応しています。制御性、信頼性、自由を提供する Red Hat Enterprise Linux 8 は、適応性が高く、一貫性を備え、セキュリティ重視の基盤でクラウド導入の効率化、システムの統合、イノベーションの加速を実現するのに役立ちます。

詳しくは redhat.com/ja/technologies/linux-platforms/enterprise-linux をご覧ください。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
0120 266 086
03 5798 8510

韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat